

日本の公共図書館は どう使われているか

公的統計で見る施設・貸出・催しの変化

2026年10月4日資料確認 | オリジナル図版



数字の読み方

指標	この資料での対象と時点
図書館数	社会教育調査の対象館。2024年10月1日現在
貸出・催し	同じ2024年度調査で尋ねた 2023年度間 の活動
推移	原則、同調査の過去の調査回と比較

施設数：2024年10月1日

活動：2023年度間の貸出・催し

2023年4月1日

2024年3月31日

図書館全体の集計には公立と私立が含まれます。2024年は3,400館のうち公立が3,380館（99.4%）。公立のみの指標は明示します。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表1・2・6／資料確認日：2026-10-04

いまの規模を、三つの数字で

3,380 館

公立図書館の数（2024年10月1日）

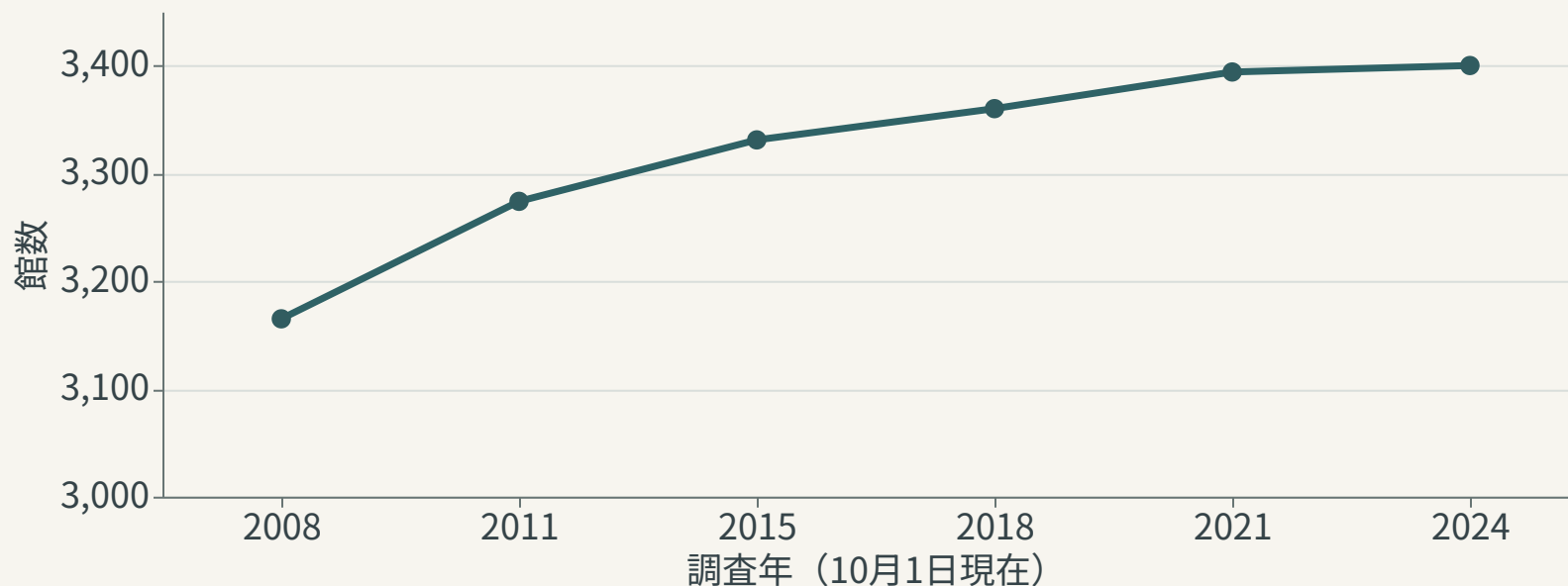
約5.94 億冊

図書の貸出冊数（2023年度間、全対象館）

貸出を受けた延べ人数は約1.66億人。約5.94億冊 ÷ 約1.66億人は **1回当たり約3.6冊**。同じ人が何度借りても、その都度数えます。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表1・2・6。1回当たりは掲載値から計算／資料確認日：2026-10-04

図書館数は、ゆるやかに増加

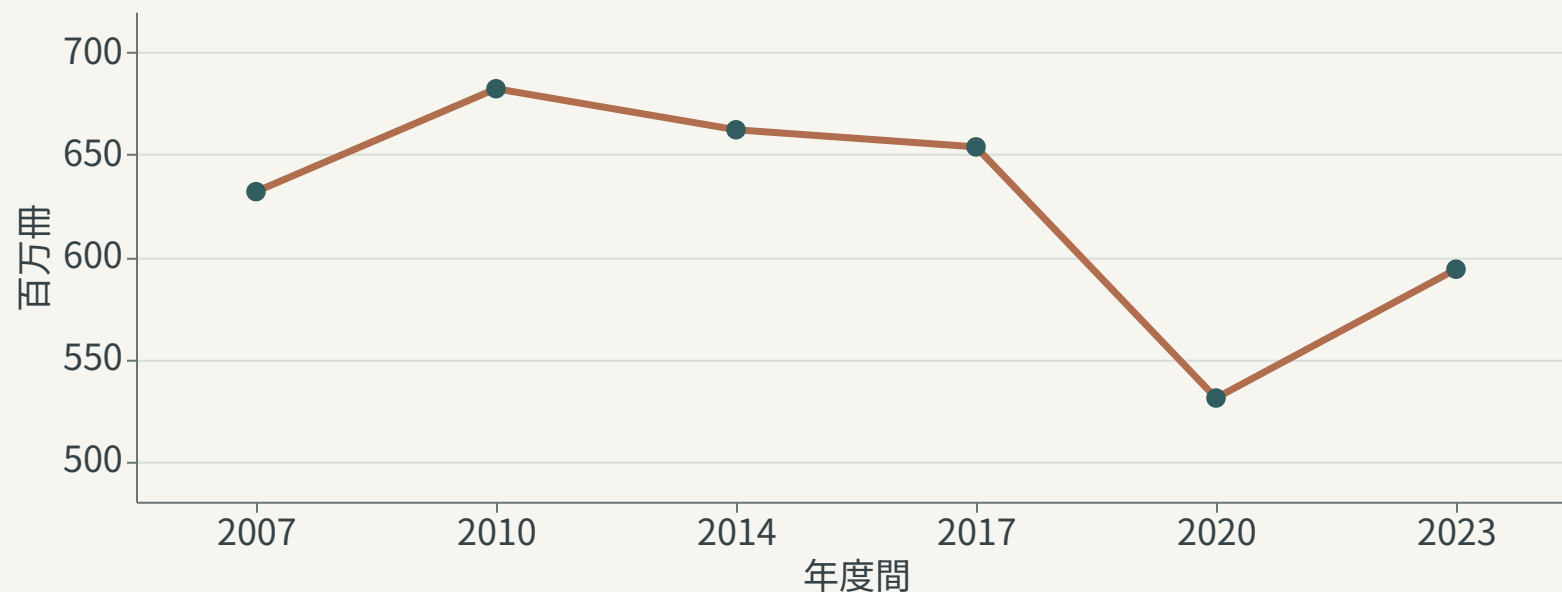


社会教育調査対象の図書館数。各年10月1日現在。公立・私立の合計

2008年の3,165館から2024年は3,400館へ。直近の2021年からは**6館増**です。なお、公立のみの2024年は3,380館。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表1／各年10月1日現在／資料確認日：2026-10-04

図書の貸出は、回復途上

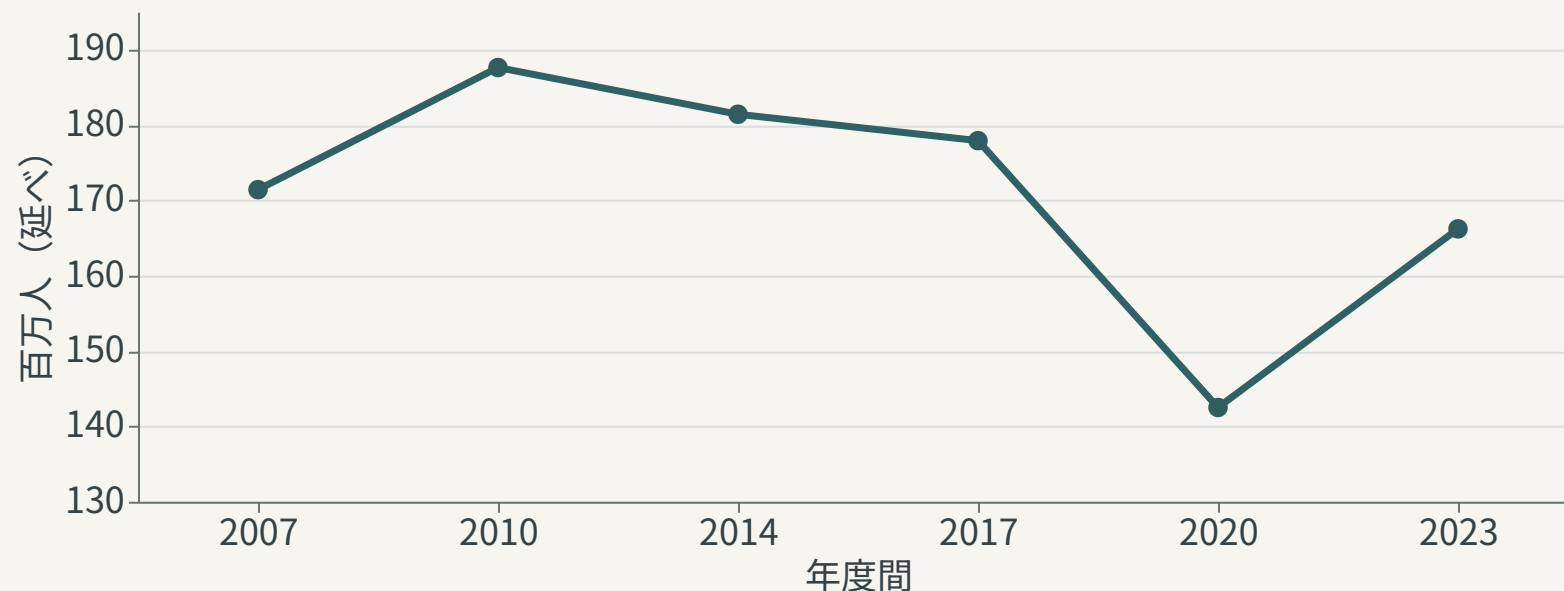


図書の貸出冊数。百万冊。社会教育調査対象館の合計

2023年度は**5億9,390万冊**。2020年度より約12%増えましたが、2017年度より約9%少ない水準です。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表6／各年度間、全対象館／資料確認日：2026-10-04

借りた「延べ人数」も回復途上

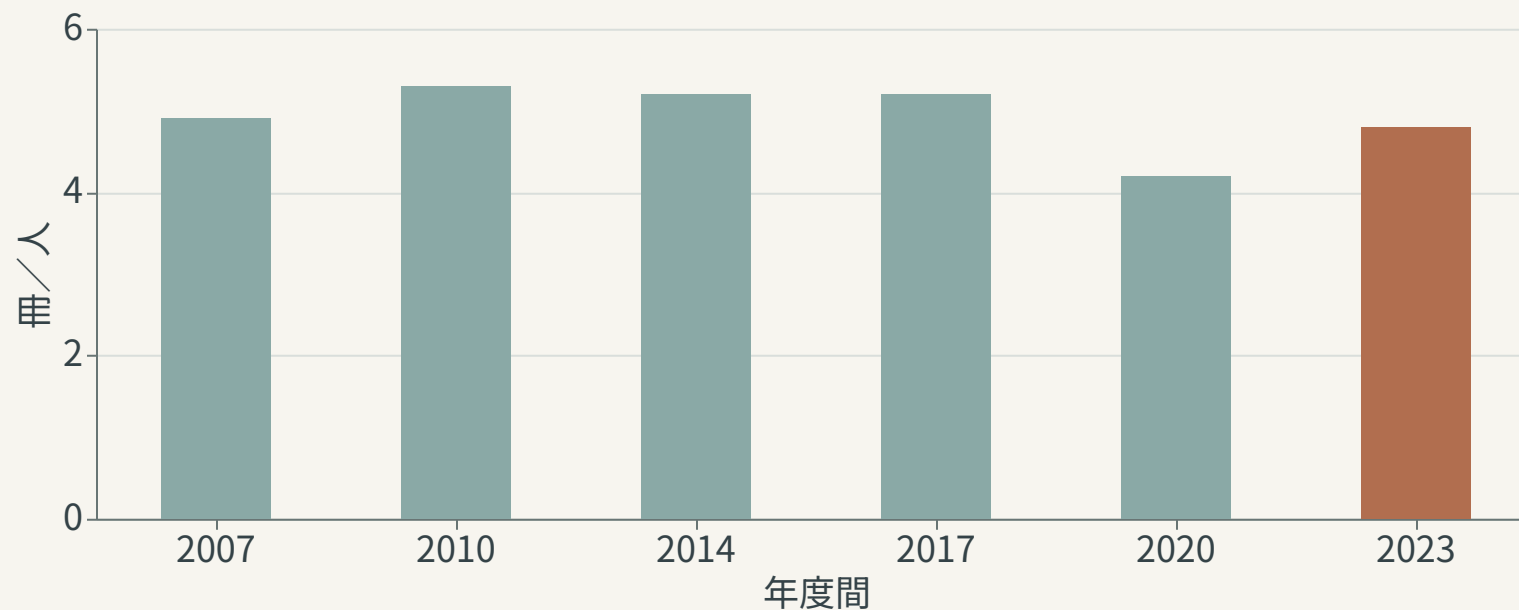


図書を借りた延べ人数。百万人。社会教育調査対象館の合計

2023年度は**1億6,623万人**。2017年度の1億7,790万人を下回ります。これは貸出を受けた延べ人数で、実際に利用した個人の数ではありません。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表6／各年度間、全対象館／資料確認日：2026-10-04

人口1人当たりでは4.8冊

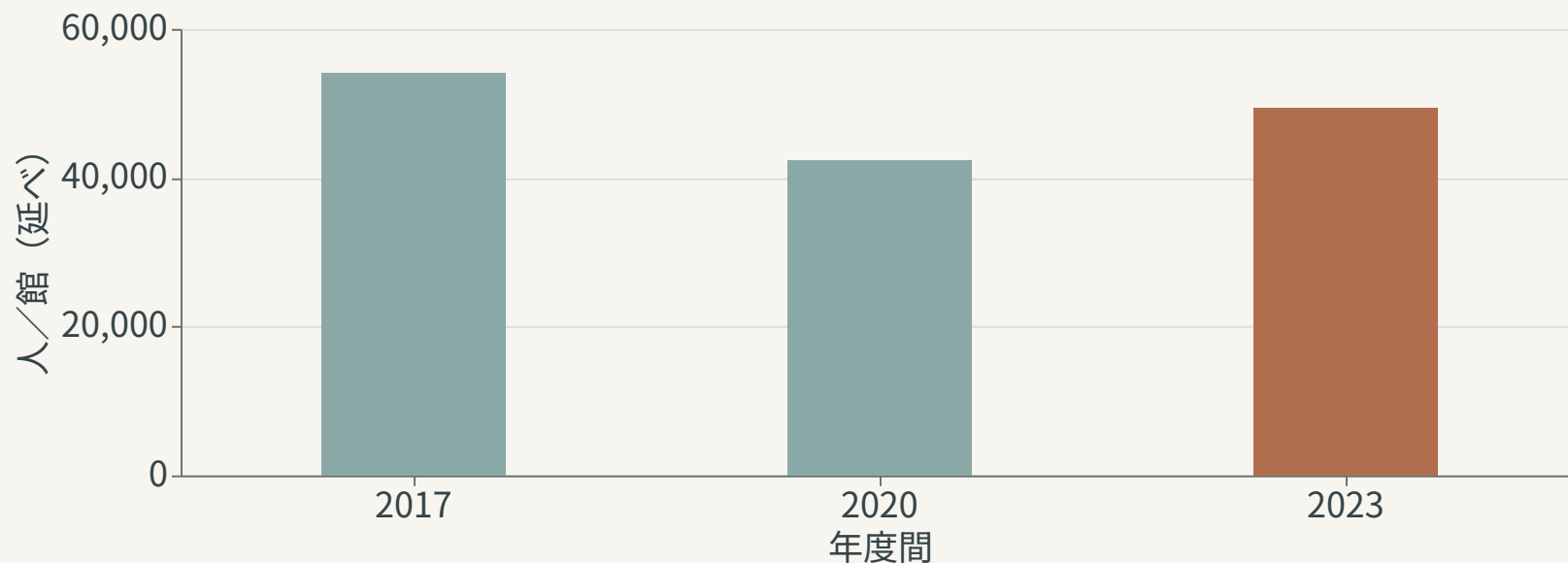


貸出冊数を推計総人口で割った値。冊／人

2023年度間は**4.8冊／人**。2017年度間の5.2冊／人には届きません。人口全体で割った平均であり、「1人が実際に4.8冊借りた」という意味ではありません。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表6。分母は総務省の各年10月1日現在推計人口／資料確認日：2026-10-04

1館当たりの利用も戻り切らない

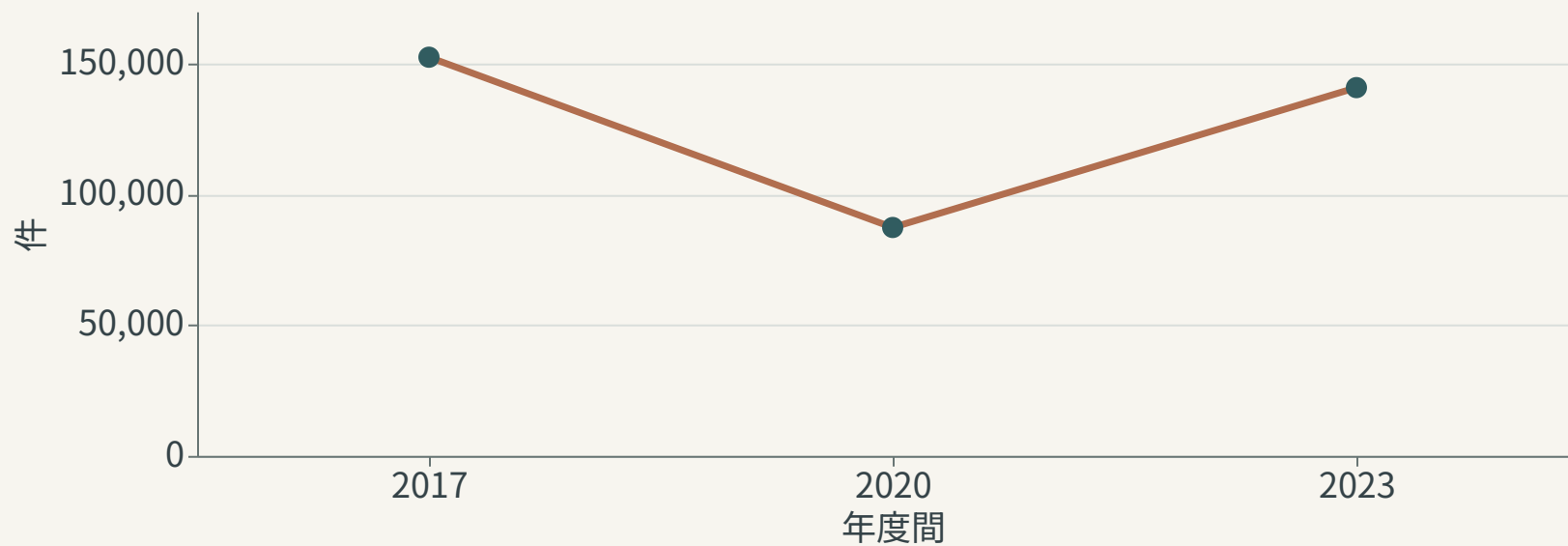


諸集会の参加者数と帯出者数を足し、館数で割った指標

2023年度間は**49,376人／館**。2017年度間の54,060人／館を下回ります。定義は「諸集会参加者数＋帯出者数」を館数で割ったもので、入館者数ではありません。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表4／各年度間、全対象館／資料確認日：2026-10-04

催しも、貸出と似た回復を示す



読書会・研究会、鑑賞会・映写会、資料展示会などの実施数

読書会・研究会、鑑賞会・映写会、資料展示会などの「諸集会」は2023年度間に**140,837件**。2020年度間より増え、2017年度間の152,466件には届きません。

出典：文科省「令和6年度社会教育統計」表5／各年度間、全対象館／資料確認日：2026-10-04

公立図書館の運営を比べる

調査年	公立図書館	うち指定管理者導入	割合
2021年	3,372館	704館	20.9%
2024年	3,380館	750館	22.2%

公立館数は**8館増**、指定管理者導入館数は**46館増**。これは管理方式の集計であり、貸出増減の原因を示すものではありません。

数字から言えること、まだ言えないこと

位置づけ	内容
事実	館数は微増。貸出冊数、借りた延べ人数、催しは2020年度より回復し、2017年度の水準には達していない。
考察	施設の数と貸出の量は、同じ方向に動くとは限らない。利用の変化を見るには複数の指標が要る。
分からないこと	館内閲覧・学習・相談の利用者数、利用者の実人数、電子資料の利用は、ここに示した指標からは分からない。

出典・対象・利用上の注意

主出典 文部科学省「令和6年度社会教育統計（社会教育調査の結果）の確定値」2026年3月27日公表、表1・2・4・5・6。

https://www.mext.go.jp/content/20260327-mxt_chousa01-000048443_1.pdf

調査概要 対象は図書館法上の図書館等。施設・職員は2024年10月1日現在、事業・貸出は2023年4月1日～2024年3月31日。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa02/shakai/gaiyou/chousa/1268405.htm

集計表 政府統計の総合窓口 e-Stat「令和6年度 社会教育調査・図書館調査」。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?toukei=00400004&tstat=000001017254>

数値は端数を丸めて表示した箇所があります。グラフは公表表をもとに再作成。表紙と時点図はオリジナル SVG 図版。**資料確認日：2026年10月4日。**